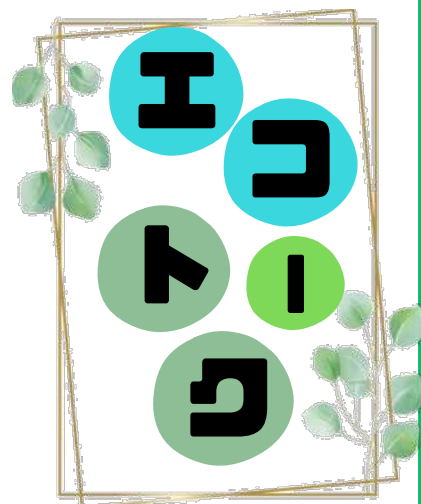


町 美 宇



(2022年広報7月号)



町にお住まいの皆さんいかがお過ごしですか？

例年福岡の梅雨入りは6月初旬で、山笠が走った7月中旬に梅雨明けですが、今年は珍しく先に関東・甲信越地方に梅雨入り宣言が出されました。この現象は太平洋高気圧と大陸性高気圧の押し合いで生じたものです。50年位前から地球温暖化について様々な機関から警告が発せられています。温度上昇は大気だけでなく海水も上昇しています。以前に海水はCO₂を吸収してくれていたことを書きましたが、吸収されたCO₂は水と反応して炭酸に変化し、海水中の水素イオン濃度が増加して酸性度が高まります。気象庁の発表によりますと海洋が大気から吸収したCO₂の量は炭素の重さにすると、1990～2000年の年間平均で21億トンであったのが2020年は29億トンと上昇し、1990年以降最大となりました。現在の海洋表層水のpHは8.1と弱アルカリ性ですが「国連の気候変動に関する政府間パネル」(IPCC)の2020年度の発表では産業革命前に比べて0.1低下しています。

2021年の報告では地球上の海水の95%が酸性化の影響を受けています。海洋酸性化が進むと化学反応によって炭酸イオン濃度が低下し、炭酸カルシウムで骨格や殻を作るプランクトン・貝類・サンゴなどに奇形が現れたり、大量死が発生します。2005～2009年に米国西海岸で発生した牡蠣の大量死はこの影響と伝えられています。CO₂は大気だけではなく海水温度や成分まで悪化させます。地球上で増え続けているCO₂排出量の三分の一は一般家庭から排出されているとの報告もあります。このまま改善がなければ今世紀末には平均温度は4度上昇することになると国連の諸機関から警告が発せられています。50年後100年後に地球上で生活をする人々が快適であるように今を生きる私たちがお手本を示さなければならぬ時代だと思うのですがいかがでしょうか？

文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆